

サステナブル未来予想図

～次の主役はわたしたち！2050年の社会を描こう～



サステナブル 未来予想図

～次の主役はわたしたち！
2050年の社会を描こう～

学生のみなさんが社会で活躍している“2050年”の未来予想図と、その実現に向けたアイデアを募集します。

いま、世界中の人々にとって「サステナブルな社会の実現」が共通の目標となり、国や自治体・企業・個人の取り組みが始まっています。これからの未来を創造していく次世代のみなさんに、地球環境や、人々の健康、労働、食料、教育、ダイバーシティなどさまざまな視点から、サステナブルな社会の構築に向けて何が必要か、何をしていくべきかを考える機会としていただきたいと考えています。



「NRI 学生小論文コンテスト」とは？

日本と世界の未来について、次代を担う若い学生のみなさんに考える機会を持っていただくための論文コンテストです。

NRIグループは「未来社会創発企業」として、新しい社会のパラダイムを洞察し、その実現を担うとともに、日本のみならずアジア、そして世界の発展に貢献することを目指しています。

この一環として、これからの社会を担う若い世代のみなさんに、日本や世界の未来に目を向け、自分たちが何をなすべきかを真剣に考え、その熱い思いを発表する場を持っていただこうと、2006年から「NRI 学生小論文コンテスト」を開催しています。

毎年、学生のみなさんから、明るい未来に向けた斬新で力強い提案をいただいています。

NRIは、コンテストで入賞した作品を広く社会に公表することによって、若者を含む幅広い世代が、日本の未来を考えるきっかけにしていただきたい、と考えています。

コンテストへの想い

これからの未来を創造していく次世代のみなさんが、 どんな2050年の未来予想図を描いてくれるか、楽しみにしています

「NRI学生小論文コンテスト」は、2006年に開始し、今回で17回を数えます。長きにわたって続けて来られているのは、論文を応募してくださる学生のみなさんをはじめ、学生のみなさんを支えてくださる学校関係者や保護者の方々、さらに、コンテスト開始当初からご協力をいただいている審査委員の方々のお陰であると感謝しています。ここに改めて厚く御礼申し上げます。

今回は次の時代を担う高校生・大学生のみなさんに主体的にサステナブルな未来社会を構想してほしいという思いから、テーマを「サステナブル未来予想図 ～次の主役はわたしたち！ 2050年の社会を描こう～」に設定しました。みなさんは、28年後の2050年はどんな社会になっていると想像しますか？ NRIが毎年製作している「NRI未来年表」では、2050年には日本の人口は減少して1億192万人、高齢化率は今より10%近く高い37.7%と、さらに少子高齢化が進んでいることが予想されています。また、2050年は世界の主要国が温室効果ガス実質ゼロのターゲット年に指定しており、さまざまな面で節目の年になるとも考えられます。

今回のコンテストで、みなさんがどんな2050年の未来予想図を描いてくれるのか、また、その実現に向けてどのようなアイデアを提示してくれるのか、楽しみにしています。たくさんの方に、新しい着眼点からオリジナリティあふれる提案を応募していただけることを願っています。

NRIグループにおいても、サステナブルな社会の実現に貢献すべく、今後の事業活動に努めていきたいと考えています。



野村総合研究所 代表取締役会長 兼 社長

此本 臣吾

これまでの募集テーマ

大学生の部・留学生の部 | 高校生の部

- 第1回 (2006) ユビキタスネット時代のITと人間の関わり | モチベーションクライシス
- 第2回 (2007) 日本が世界と共生するには | 日本から見た世界 世界から見た日本
- 第3回 (2008) 日本の「第三の開国」に向けて | 2015年の日本人像・家族像
- 第4回 (2009) ITを活用した日本発ビジネス | 日本はコレで世界一になる！
- 第5回 (2010) 日本が世界のためにできること | 世界のなかで日本の魅力を高めるには
- 第6回 (2011) 2025年、新しい“日本型”社会の提案 | 2025年の日本を担うわたしの夢
- 第7回 (2012) 自分たちの子ども世代に創り伝えたい社会
あるべき社会の姿と私たちの挑戦 | 私たちがすべきこと、できること、やりたいこと
- 第8回 (2013) あなたが考える“わくわく社会”を描いてください
- 第9回 (2014) 創りたい未来社会 —あなたの夢とこだわり
- 第10回 (2015) 2030年に向けて —「守るもの」、「壊すもの」、「創るもの」
- 第11回 (2016) Share the Next Values! 世界を変える、新たな挑戦
- 第12回 (2017) Share the Next Values! 地方の課題をイノベーションで解決する。
サブテーマ ①震災復興 ②地方創生 ③地方の産業改革
- 第13回 (2018) 2030年の未来社会を創るイノベーションとは —世界に示す日本の底力！
- 第14回 (2019) サステナブル未来予想図 ～豊かで活力ある未来のために～
- 第15回 (2020) サステナブル未来予想図 ～最適な社会の構築に向けて～
- 第16回 (2021) サステナブル未来予想図 ～こんな地球で暮らしたい・安全安心な社会のカタチ～

これまでの受賞論文記録集



コンテストへの想い——特別審査委員

ジャーナリスト

池上 彰 さん

「論文執筆に挑戦して、 自らの考えをまとめて発信しよう」

「NRI学生小論文コンテスト」の審査にはコンテスト開始当初から携わっており、今回で17回目となります。毎年、高校生・大学生のみなさんの優れた論文を読んだり、プレゼンテーションを拝見したりする機会を得て、私自身とても大変勉強になりますし、また、楽しみにもなっています。

コンテストなので順位づけはしていますが、毎年どの作品も優れており、甲乙つけがたい思いです。自分の考えを論文にまとめ、広く発信することは、みなさんにとって貴重な経験となるはずです。ぜひ論文執筆に挑戦してください。



池上 彰 (いけがみ あきら) ——ジャーナリスト。名城大学教授、東京工業大学特命教授、東京大学客員教授など9つの大学で教える。1973年NHKに記者として入局し、1994年から「週刊子どもニュース」の“お父さん”を11年間務め、2005年独立。著書に『伝える力』『池上彰の現代史授業——21世紀を生きる若い人たちへ シリーズ』『知らないと恥をかく世界の大問題』『池上彰教授の東工大講義』『大世界史』『考える力がつく本』『考える力と情報力が身につく 新聞の読み方』『社会に出るあなたに伝えたい なぜ、読解力が必要なのか?』『池上彰の世界の見方』『なぜ世界を知るべきなのか』『聖書がわかれば世界が見える』『一気にわかる! 池上彰の世界情勢2023』など多数。

ノンフィクションライター

最相 葉月 さん

「想像力を羽ばたかせて、 それぞれの2050年の未来予想図を描いて」

今回は「サステナブル未来予想図 ～次の主役はわたしたち! 2050年の社会を描こう～」というテーマです。今から30年後の2050年に向けて想像力を羽ばたかせて、みなさんそれぞれの「2050年の未来予想図」を描いて欲しいと思います。

論文で自分の思いを表現しようとする若い世代のみなさんの姿勢には、毎年とても触発されています。今回もみなさんの柔軟で斬新なアイデアに出会えることを、楽しみにしています。



最相 葉月 (さいしょう はづき) ——ノンフィクションライター。科学技術と人間の関係性、災害、医療などを中心に取材執筆活動を行う。著書に『絶対音感』(小学館ノンフィクション大賞)『青いバラ』『ピヨンド・エジソン 12人の博士が見つめる未来』『セラピスト』『れるられる』『ナグネ 中国朝鮮族の友と日本』『調べてみよう、書いてみよう』『理系という生き方——東工大講義 生涯を賭けるテーマをいかに選ぶか』『証し 日本のキリスト者』、共著『心のケア—阪神・淡路大震災から東北へ』、共著『胎児のはなし』など多数。『星新一 一〇〇一話をつくった人』にて大佛次郎賞、講談社ノンフィクション賞、日本SF大賞、日本推理作家協会賞(評論その他の部門)、星雲賞(ノンフィクション部門)受賞。

テーマ詳細

大学生の部、高校生の部 募集テーマ

サステナブル未来予想図

～次の主役はわたしたち！2050年の社会を描こう～



最近よく目にする「サステナブル」という言葉。環境や社会、経済などを、将来にわたって適切に維持・発展させていける「持続可能性」を表しています。目先の利益や便利さを追求するのではなく、物事の長期的な影響を踏まえて行動しようという考え方です。いま、世界中の人々にとって「サステナブルな社会の実現」が共通の目標となり、国や自治体・企業・個人の取り組みが始まっています。

例えば、温室効果ガスの排出量と吸収量のバランスをとり、全体として排出量をゼロにする「カーボンニュートラル」が、世界各国の目標として掲げられています。これを達成するために、国や企業では発電方法を見直し、再生可能エネルギーにシフトする動きが活発になっています。また、みなさんの暮らしの中では、モノやサービス、空間を一人ひとりが占有するのではなく、他者と共有し

て必要なときだけ使う「シェアリングエコノミー」が広がっています。みなさんも、何か取り組んでいることがあるのではないのでしょうか。地球環境に関わる課題を例に挙げましたが、サステナブルな社会の構築に向けては、人々の健康や労働環境、食料、教育、ダイバーシティなど、さまざまな取り組みの視点があります。

NRIでは、事業活動を通じて持続可能な未来社会づくりへ貢献していく「サステナビリティ経営」を推進しています。これからの未来を創造していく次世代のみなさん、この地球で人々が幸せに暮らし続けていくために必要なことを、共に考えてみませんか。身近なところから始めるアクションも、グローバルで大胆な発想も大歓迎です。みなさんが社会で活躍している“2050年”の未来予想図と、その実現に向けたアイデアを、お待ちしております。

募集要項

「サステナブル未来予想図 ～次の主役はわたしたち！ 2050年の社会を描こう～」
オリジナリティあふれる2050年の未来予想図を提案してください

大学生の部

募集期間

2022年7月1日～9月8日

応募資格

- ・日本国内の大学院、大学、短大、高等専門学校4～5年に在籍している学生（社会人経験を有しないこと）。
- ・個人またはペア（ペアの相手は、「大学生の部」「高校生の部」いずれかの応募資格者であること）。
- *日本語学校・専修学校に在籍する、社会人経験のない留学生（「留学」の在留資格を有する）もご応募いただけます。

字数

4,500～5,000字 *別途400字程度の要約を添付

賞

- [大賞1作品] 賞金50万円
- [優秀賞1作品] 賞金25万円
- [特別審査委員賞 1作品] 賞金25万円
- [留学賞特別賞1作品] 賞金25万円
- [敢闘賞 数作品] 賞金10万円
- [奨励賞 数作品] 賞金5万円

高校生の部

募集期間

2022年7月1日～9月8日

応募資格

- ・日本国内の高校（高等専門学校1～3年、中等教育学校後期を含む）に在籍している学生。
- ・個人またはペア（ペアの相手は、「高校生の部」の応募資格者であること）。

字数

2,500～3,000字 *別途200字程度の要約を添付

賞

- [大賞1作品] 賞金30万円
- [優秀賞2作品] 賞金15万円
- [特別審査委員賞 2作品] 賞金15万円
- [敢闘賞 数作品] 賞金6万円
- [奨励賞 数作品] 賞金3万円

〈応募に際しての注意事項〉

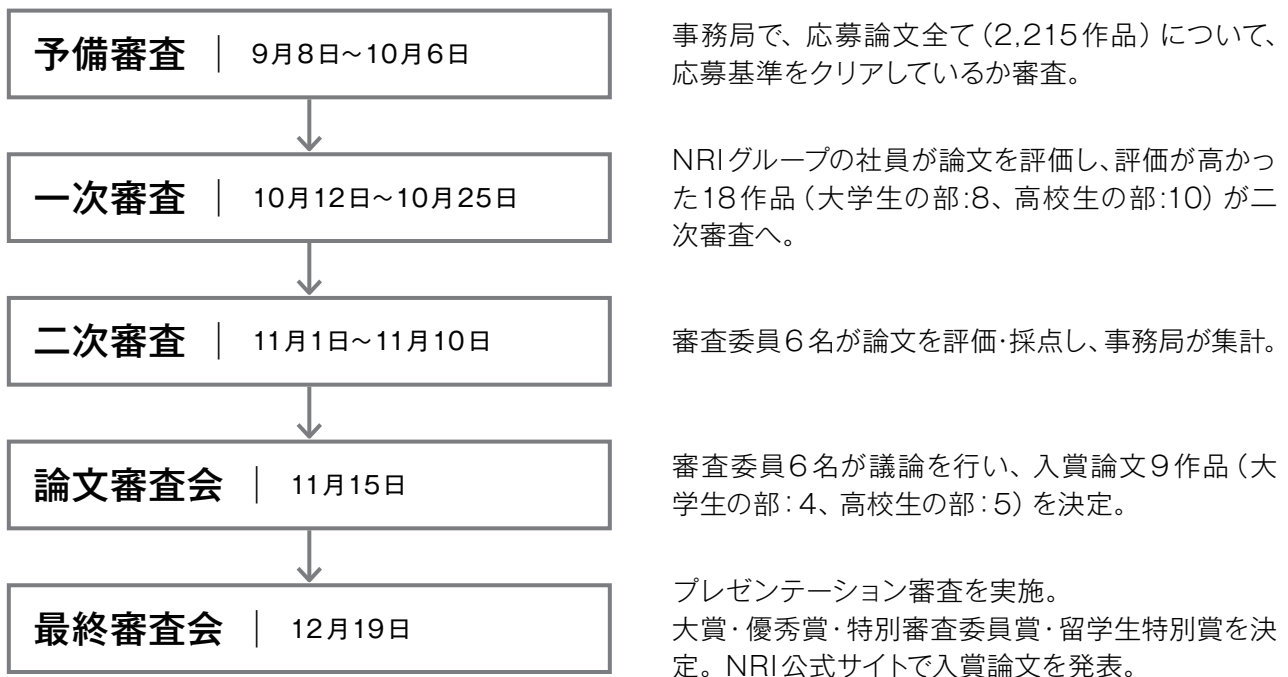
- ・応募論文は、日本語で執筆された、自作で未発表のものに限る。
- ・他の著作物を引用する場合は、その箇所を明記するとともに、論文の最後に出所を記載する。
- ・図表中の文字、図表タイトル、注釈、参考文献一覧は、字数に含まない。図表の数は5点以内とする。
- ・他のコンテストなどに同内容の論文を多重応募することは禁止とする。

審査のプロセス

入賞論文は、予備審査→一次審査→二次審査→論文審査会→最終審査会という5つのステップを経て、決定しています。

- 論文審査は、独自性や鋭い視点を持って問題を提起し、広い視野で実現性の高い解決策を提案した論文を高く評価するために、「問題発見力」「問題解決力」「文章力」「斬新／大胆な発想力」の4つの観点から行います。
- さらに、論文審査を通過した作品の執筆者には、最終審査会で6分間のプレゼンテーションを行ってもらい、その発表も採点して、受賞作品を決定します。

最終審査会以外は、どの審査においても、応募者の学校名、氏名などの属性を秘匿したうえで、厳正に行っています。また、評価が偏らないように、1つ1つの応募作品を複数の審査委員が評価しています。



〈論文審査の評価基準〉

◆ 問題発見力

- ・ 独自の視点で問題の提起がなされているか
- ・ 論点に対する切り口の鋭さ、考察の深さ
- ・ 具体例、数値を使用するなど論点のわかりやすさ

◆ 問題解決力

- ・ 提案や解決策のスケールの雄大さ、視野の広さ
- ・ 提案や解決策の独自性・実現性

◆ 文章力

- ・ 論文構成のわかりやすさ
- ・ 文法の正しさ、誤字・脱字の少なさ

◆ 斬新／大胆な発想力

- ・ 実現性に乏しくても、発想が斬新で大胆なもの
- ・ 多くの人に夢や希望を与えるもの

◆ 上記には該当しない評価点 (これまでに評価された点の例)

- ・ テーマや提案内容に対する熱い想い
- ・ 独自の調査・取材
- ・ 体験談

入賞作品

入賞されたみなさん、おめでとうございます！

大学生の部

大賞

「もっと頑張れ」と大人たちは言うけれど ～教育格差是正のための社会構想～

上野 暖登 同志社大学 グローバル・コミュニケーション学部3年

優秀賞

ITの利用で「誰一人」取り残さない医療を目指して

河野 亜希 福井大学 医学部5年

特別審査 委員賞

Space Sarcopenia Station ～人生はもっと輝ける～

黒松 俊吾 大阪公立大学 医学部4年

留学生特別賞

ようこそ2050年グリーンシティへ ～緑の天国一日体験ツアー～

呉 小優 淑徳日本語学校

高校生の部

大賞

「救うべくして救った命」

倉持 葵成 埼玉県 本庄東高等学校2年

優秀賞

「Active School」の導入によって健康的な未来を築こう

児玉 夏楓 北海道 立命館慶祥高等学校3年

優秀賞

アグリベンチャー「Lemna」 —アオウキクサを捨てない世界に—

土屋 春己 東京都立両国高等学校2年

特別審査 委員賞

新しい支援の仕方「Cycleプロジェクト」で支援される側を主役に

阿武 和奏 千葉県 市川高等学校1年

特別審査 委員賞

Flying Emergency Hospital —医療に進化を人類に安心を—

勝田 真悠 宮城県 宮城学院高等学校1年

入賞作品

大学生の部 敢闘賞・奨励賞

看護師さんがイキイキと働くことができるように **敢闘賞**
石田 涼華 東北大学大学院 医学系研究科2年

レシートによる命の「TOMOSHIBI」プロジェクト **敢闘賞**
～災害時の電力供給不足に貢献するレシートの
二次利用について～
井上 美羽 青山学院大学 総合文化政策学部4年
高山 琴羽 青山学院大学 総合文化政策学部4年(共著)

ゲノム農業塾プロジェクト **敢闘賞**
～耕作放棄地を用いた、農業×科学技術理解への取り組み～
高谷 道也 京都大学大学院 農学研究科1年

データゴミの削除とリサイクル **敢闘賞**
朴 昭滋 大東文化大学 国際関係学部1年

循環型動物園のすすめ **奨励賞**
神田 美桜 東京農工大学 農学部2年

教育機関を起点にしたコンポストで築く循環型コミュニティ **奨励賞**
渡邊 幹大 創価大学 経済学部4年

高校生の部 敢闘賞・奨励賞

「地球にやさしい」北海道産乾燥野菜の
プラットフォーム **敢闘賞**
河野 みのり 北海道 立命館慶祥高等学校3年

地域創生 ～空家から生まれる新施設～ **敢闘賞**
小林 萌奈美 東京都 中央大学高等学校3年

ちょうだい!そのエネルギー **敢闘賞**
花澤 樹 埼玉県 本庄東高等学校1年

砂漠産作物で飢餓をゼロに **敢闘賞**
古山 倫悟 東京都 中央大学高等学校3年

学校というチームで挑む地域創生 **敢闘賞**
～ちいき科という授業の導入～
鷺田 柚季 宮城県 宮城学院高等学校1年

バイオアグロフォレストリー **奨励賞**
～木と人の命をまもる～
安藤 諒 岐阜県立岐阜高等学校2年

健康的に長生きする社会 **奨励賞**
～食育×農業×地域活性～
高橋 優季 宮城県 宮城学院高等学校1年

未来の農業 **奨励賞**
～スマート農機で高齢化に立ち向かう～
松田 知佳 埼玉県 本庄東高等学校1年

応募概況

「NRI学生小論文コンテスト2022」の応募論文数と入賞論文数は、以下のとおりです。

応募論文数 ()内は留学生

大学生の部	高校生の部
184(15)	2,031
総数 2,215	

入賞論文数

		大学生の部	高校生の部	計
最終審査会 参加者	大賞	1	1	2
	優秀賞	1	2	3
	特別審査委員賞	1	2	3
	留学生特別賞	1		1
敢闘賞		4	5	9
奨励賞		2	3	5
計		10	13	23



論文審査会



最終審査会